

高島で暮らす  
福祉で働く

琵琶湖のほとりで  
ゆっくりと自分らしく



人と人 田舎と都会 暮らしと仕事の

ちょうどいい距離感が

自分らしい生きかたを

そっとあと押ししてくれる

ゆっくりと丁寧に 毎日を大切にしたい

そんなあなたに知ってほしい

琵琶湖のほとり・高島で

福祉の仕事をする暮らし









# 目次

## CONTENTS

07 はじめに

08 福祉で働く人の声

08 「利用者さまがくれた「スマイル!」を、高島の未来へとどけよう」 中村 礼奈さん

09 「地元・高島から、介護の仕事の楽しさを伝えたい!」 泉 皓斗さん

10 「陶芸×福祉の仕事で、子どもたちの将来をハッピーに」 圓口 功治さん

11 「働きやすさを支えながら、高島&福祉の魅力を発信!」 木下 裕輝さん

12 「生まれ育った高島に、みんなの居場所をつくりたい」 森井 良磨さん

13 「老人ホームを、地域みんなのマイホームへ」 青井 淳さん

14 「子育ても復職も、安心してできる街と職場」 前田 有美香さん

15 「個性や働き方を受け入れ、より生きやすい地域づくりへ」 上田 洋行さん

16 利用者さまの声

16 「職員さんも私らも、言いたいことを言いあえるのがいちばんええね」 成田 茂雄さん

17 「人とのつながりを大切にできる仕事に就きたい」 森田 弥那さん

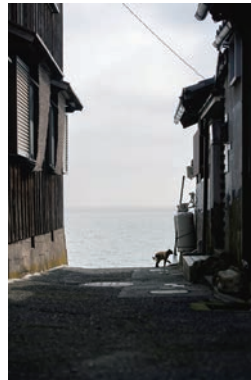
18 ふくしな暮らし ～これからの高島の福祉を考える～

20 高島ぐらしの魅力

21 高島でのLIFE STYLE

22 おわりに

23 法人紹介



## つくっていくのは、 一人ひとりの自分らしい暮らし

超少子高齢化社会を迎え、介護福祉サービスの需要が急増しています。

福祉従事者の数は増え続けており、

今、福祉業界は、日本で数少ない成長産業と言えるのです。

目の前の人と真摯に向き合い、一人ひとりの自分らしい暮らしをつくることは、どんなにテクノロジーが発達しても、AIやロボットに代わりはできません。

人対人が出発点。それが福祉の仕事です。

## 福祉を起点に、新しい地域を創造していく

その人らしい暮らしをつくるために。

これからますます、福祉を起点とした地域づくりが行われていくでしょう。

農業・アート・食・スポーツなど。

異なる分野が福祉と混ざりあい、新しいあたりまえをつくっていく。

地域とつながり、一人ひとりの暮らしを創造する。

そんな職業が、福祉なのです。

## ふくしな暮らしを、高島から

琵琶湖の西岸に、山々・里山に囲まれた滋賀県高島市。

ゆったりと流れる、きれいな川と穏やかな時間。多様な価値観を受け入れていく人々の暮らし。

そんな高島で福祉の仕事をするとは、

“人といっしょに、自分らしく暮らす”こと、

そのものなのかもしれません。

これから紹介するのは、働き方、ライフスタイル、経歴、人生設計がそれぞれちがう、

十人十色の「ふくしな暮らし」。

高島で暮らし、福祉業界で働く生き方が、

あなたのこれからの人生と結びついたら、こんなに嬉しいことはありません。



大阪から高島で働く |

## 利用者さまがくれた「スマイル!」を、高島の未来へと届けよう

【社会福祉法人 虹の会】

<http://shiganijinokai.net/>



### 大学での実習をきっかけに、障がい者支援の道へ

キャンパスが滋賀県にあったため、大学4年間で津市で過ごしました。3年生の現場実習で、カフェで働く障がいのある方のお手伝いをしました。接し方がわからず戸惑っていた私に、その方は気さくに話しかけてくださり、仕事を丁寧に教えてくださいました。いっしょに過ごすなかで、「障がいのある方たちのできることをもっと増やしたい」という想いが大きくなり、障がい者支援の道へ進もうと決心しました。

### 高島で、地域に根ざした福祉の仕事を

就職活動では、地元・大阪や津市などの滋賀県を中心に、さまざまな施設を見学。一時は地元で働くことも考えましたが、「より地域に根ざした仕事を

する」という基準で就職活動を行いました。そのなかで「ここだ!」と思ったのが、現在勤めている社会福祉法人虹の会アイリスです。地域との関わりを大切にしながら、いきいきと働く職員さんたちにとっても魅力を感じました。高島の人と自然環境。ここでなら、腰を据えて障がい者支援に取り組めると確信したんです。

### 自分にできることを一つずつ増やしていく

入職して間もない頃、仕事に慣れず顔がこわばっていた私の背後で「スマイル!」と言う声がしました。振り返ると利用者さまがいて、笑顔で励ましてくれたんです。嬉しかったし、元気になった。支援をする・される立場じゃなくて、みんなで助け合っ、いっしょに暮らしているんだということをあら



社会福祉法人 虹の会  
アイリス  
職業指導員  
中村 礼奈さん

大阪府出身。龍谷大学社会学部地域福祉学科を卒業後、2017年に社会福祉法人虹の会アイリスへ入職。就労継続支援B型の職業指導員として、利用者さまの障がい特性に寄り添う支援や作業環境づくりを行っている。

ためて実感しました。利用者さまをはじめ、みんなが生きやすい地域づくりに、もっと貢献していきたい。そのために、自分にできることを一つずつ増やしていきたいと思っています。



生まれ育った高島で働く |

## 地元・高島から、介護の仕事の楽しさを伝えたい!

【社会福祉法人 ゆたか会】

<http://yutakakai.jp/>



### 支えてくれた人に恩返しをしたい

祖父が倒れているのを見つけたときに、自分の無力さを感じたこと。高二で不登校になった自分を、担任の先生はいつも気にかけてくれ、福祉の仕事ですめてくれたこと。お世話になった人や、生まれ育った地元で恩返しをしたい。そんな想いをもちながら、今は高島市の特別養護老人ホーム清風荘で、食事や入浴など生活全般をお手伝いする介護福祉士として働いています。それぞれの利用者さまに必要な支援を、ご本人にできることはやってもらいながら行っています。

### 実は昔、ここに神輿をかついで来ました

清風荘では市ヶ崎区と合同で、春になると子ども神輿が施設を訪れてくれま

す。また秋には、地域とのふれあい交流会を開催。保育園児の太鼓や模擬店で賑わい、利用者さまと地域の方々で交流を深めるいい機会になっています。実は私も学生時代に子ども神輿をかついで、この施設に来たことがあるんですよ。まさか自分がここの職員になるなんて、当時はまったく想像していませんでした。

### 介護の仕事は、本当に楽しい

休日には散歩をしたり、自転車に乗って出かけたりするのが好きです。高島の私のお気に入りスポットは、湖岸です。自転車で通るときに、季節や場所によって見え方が変わり、いろいろな景色が楽しめるんです。高島育ちの私が言うのだから、間違いないでしょう(笑) そんな自然いっぱいの高島から、介護の仕事の魅力を伝えたいですね。



社会福祉法人 ゆたか会  
特別養護老人ホーム 清風荘  
介護福祉士  
泉 皓斗さん

高島市出身。福祉の専門学校で在学中、もっと現場経験を積みたいと福祉施設でアルバイトをはじめ。丁寧な心配りと、なんでも相談しやすい距離感を大切に、利用者さまの笑顔をめざして支援を行っている。

もっと若い人が増えたら、イメージも変わると思います。というか、難しいことは抜きにして、本当に楽しい仕事です。







| 他業種から福祉に転職 |

陶芸×福祉の仕事で、  
子どもたちの将来をハッピーに

[社会福祉法人 たかしま会]

<http://takashimakai.or.jp/>



陶芸家から、生活支援員へ

料理が好きで、その器をつくりたくて陶芸家の道へ。福祉の仕事との出会いは、障がいのある小学生たちに陶芸教室を開くご縁をいただいたこと。さまざまな施設を訪問するなかで、この子どもたちが大人になったときの受け入れ先って本当にあるのかな？という疑問が湧いてきました。これからもっと施設が必要になる。でも、たとえ施設が増えたとしても、職員がいなければ意味がない。将来のこの子たちを支えるために、今から自分も支援できるようになっておきたい。そう考え、2019年に福祉業界へ飛び込みました。

夢は、利用者さまと  
陶芸の展示会を開催！

藤美寮へ入職し、利用者さまの食事や

入浴の介助など、生活全般のお手伝いをする生活支援員として働いています。利用者さまの体調の変化を見逃さないこと。寄り添う気持ちを忘れないこと。そして支援の基礎をしっかりと養い、ゆくゆくは陶芸を生かした支援も取り入れていきたいと考えています。利用者さまといっしょに作品展を開催することが、今の私の大きな夢です。

福祉の仕事は、  
どんな経験も役に立つ

陶芸家から福祉の道を選んだ私。私のようにものづくりをしていて、ライフスタイルを変えたいと考えている方には、福祉の仕事は自信をもっておすすめできます。ものづくりをする時間が確保できて、安定収入も得ることができるからです。実際に私は、今も陶芸教室を継続しています。福祉の仕事は、



社会福祉法人 たかしま会  
障害者支援施設 藤美寮  
生活支援員  
圓口 功治さん

京都府出身。20歳のとき、陶芸家をこころざし京都の寮元で修行後、独立。陶芸療法士の資格を取得し、さまざまな障害者支援施設で陶芸教室を開催。現在は藤美寮の生活支援員として働きながら、福祉の仕事の基礎を修行中。

どんな経験も役に立ちます。これからも自分のスキルを発揮することで、利用者さまを笑顔にしていけたら嬉しいです。



| 福祉の広報で働く |

働きやすさを支えながら、  
高島&福祉の魅力を発信！

[社会福祉法人 高島市社会福祉協議会]

<http://takashima-shakyo.or.jp/>



山も川もコンビニも近い

私にとって高島は、仕事と趣味を両立するための絶好の場所。とにかく自然のなかで過ごすことが好きな私は、夏はアユ釣り、冬はスノーボード、春と秋には花見やバーベキューなどなど。これらすべてが高島なら、仕事をしながらお気軽に。一年を通して「これでもか！」というくらい楽しめます。なぜなら、山も川もコンビニも、ぜんぶが近いからなんです。確かに田舎だけど、いろいろとちょっとだけ便利なんですよね、高島は。

私の、高島の遊び方ガイド

高島といえば安曇川。安曇川といえば夏のアユ釣りです。県外からは夜明け前に出発し、あくびをこらえて来られます。だけど我々にとって安曇川は、

車ですぐそこ。ベストコンディションで臨めます。釣れたアユは塩焼きもよし、天ぷらも最高ですね。そして冬はスノーボードへ。マキノ、今津、朽木の3つの山で楽しめるのも大きなポイント。冬の朝の通勤途中、山々の雪化粧を眺めるだけで、週末へのワクワクがとまりませんよ。

福祉の現場の、  
バランスのいい働き方を支えたい

終始、高島のプリアウトドアガイドみたいになってしまいました。けれど、こういうことが話せるのも、メリハリをもって働ける職場環境があるからこそ。そんな高島で暮らす人の福祉に役立つ情報を広報誌にまとめて発信したり、現場の職員さんが働きやすい環境を整えるのが私の仕事です。質のよいサービスを届けるためには、働く人の



社会福祉法人  
高島市社会福祉協議会  
木下 裕輝さん

高島市出身。母が障がい者支援施設で働いていたこともあり、大学卒業後は救護施設のケアスタッフとして勤務。より施設の経営側の仕事に興味をもち、現職では職員が介護に専念しやすい環境づくりに取り組んでいる。

心身のバランスが何より大切。そういったライフワークバランスの見直しなどを通じて、誰もが働きやすい福祉の現場づくりに貢献していきたいと考えています。







｜ 転職で高島にUターン ｜

生まれ育った高島に、  
みんなの居場所をつくりたい

[特定非営利活動法人 びわの音・西近江 Flat]

Facebook >>



外に出たから、地元と向き合えた

大学院を卒業後、草津にある滋賀県社会福祉協議会、大津の特別養護老人ホームに勤務。さまざまな家庭環境の子と親の居場所づくりや、制度の狭間にある課題に取り組みました。子ども食堂やフリースペースを提供する活動を行うなかで目の当たりにした、それぞれの事情と孤立した生活。そこで気づいたのは、滋賀県でのこの問題は、自分の生まれ育った高島でも同じように課題になっているということ。地元をよりよくするために、自分の役割を果たしたい。そう考え、故郷・高島へ帰ることに決めました。

一人の人生の、登場人物を増やす居場所

今、私はグループホームねねの家の生活相談員として、認知症の方々の生活

支援や事業所の事務・運営をしています。また、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もそうでない人も、誰もが立ち寄れる場所「Flat」も運営中。子どもは子ども、お年寄りはお年寄りが通う場所…という枠を取っ払うことで、その人の暮らしに関わる人が増える場所をつくりたくて。人生のなかの登場人物が増えれば、日々の豊かさも変わるんじゃないかと思うんです。

可能性が広がるUターン

アーティスト、建築、飲食関係など。県外で活躍する地元の友達にはいつも刺激をもらっています。そういう異業種と自分の仕事をコラボさせて、地元を盛り上げられたらおもしろいだろうなどとよく考えます。高島の人に限らず「地元に戻っても何もなし」と言う方もいると思いますが、何もなしと



特定非営利活動法人  
びわの音・西近江  
グループホームねねの家  
生活相談員  
森井 良磨さん

大学時代から地元を離れ、転職を機に高島へUターン。介護職員として働きながら地域の放っておけない課題と向き合い、みんなの居場所づくりに尽力。目の前にいる人の想いを大切にす支援を常に心がけている。

いうことは、新たに何かを生み出せるということ。さらに福祉の場合は、いろんな分野とつながることで、可能性は大きく広がっていくと思います。高島へのUターンは、可能性の開拓かも！？しれませんね。



｜ これからの福祉施設のありかた ｜

老人ホームを、  
地域みんなのマイホームへ

[社会福祉法人 ゆたか会]

<http://yutakakai.jp/>



元気なお年寄りが  
増えてほしい

滋賀県は、男性長寿が日本一。県内でも高島市の高齢化率は高く、介護ニーズも高まっています。たしかに現状の人手不足は悩ましい。でも、長寿の街であることは素晴らしいことでしょうか？もっと元気なお年寄りが増えてほしい。そのために社会福祉法人として何ができるか。たとえば、介護を受ける前に予防する取り組みや、一人暮らしの高齢者のケアなど、求められるところへのきめ細やかな対応を大切にしていきたいですね。

老人ホームを、マイホームに

想像してください。もし自分が老人ホームへ入居したときに、備えておいてほしいもの。Wi-Fi環境？お気に入りの

服？お風呂も毎日入りたいでしょう？つまり、今30代の私たちが高齢者になったときのニーズだけでも、ものすごく多様化しているということ。老人ホームを、その人のマイホーム化する時代が、もうそこまできている気がします。少なくとも「老人ホーム」のマイナスイメージを変えていく取り組みは、今すぐは始める必要があると思います。

集まりたくなる  
施設をつくりたい

地域の方々が集まりたくなる「みんなの家」。それが、私のめざす老人ホームです。誰もが気軽に立ち寄れることで、さまざまな世代間が交流できる場所にしていきたい。今は親御さんの帰宅が遅いなど、さまざまな家庭環境のお子さんを対象に施設を開放しています。



社会福祉法人 ゆたか会  
小規模特別養護老人ホーム  
さわの風  
副主任 生活相談員  
青井 淳さん

高島市出身。新卒で社会福祉法人ゆたか会に入職。法人内異動により3つの施設を経験。2019年からさわの風の生活相談員として、入居の受付窓口から利用者さまの病院送迎まで幅広い調整業務を担当している。

宿題をしたり、利用者さまと食事をしたりしてもらっています。そうやって、みんなで元気にやっていくこと。そのための、老人ホームの枠をこえた施設をつくること。それが私の夢です。







## 子育てしながら働く | 子育ても復職も、 安心してできる街と職場

[社会福祉法人 光養会]

<http://www.kouyoukai-fujinosato.jp/>



### 想いを汲みとれる職員になりたい

幼い頃に母を亡くし、祖父と祖母に育ててもらいました。高校生のときに祖父が倒れ、老人ホームに入ることに。介護老人保健施設を経て、特別養護老人ホームに入所した祖父から、孫の私はいつも「家に帰りたいや」など、さまざまな想いを聞いていました。でも、その頃の私は、何もできなかったんです。施設に住む人の想いを汲みとり、できることなら叶えられるお手伝いがしたい。そう考えて、生活支援員になろうと決めました。2011年にふじの里へ入職し、現在は相談員として働いています。

### 職場には先輩ママがたくさんいます

今は、育休取得中です。ふじの里の働きやすさを象徴していると思うのですが、産休や育休を取得した職員がとて

も多い。さらにはほとんどの職員が復職しています。子どもが生まれるからあきらめようとか考えたこともないですし、むしろ職員の先輩ママから子育てについて教えてもらうことも多く心強いですね。さらに、高島市は子育て支援がとても充実。働くママやパパにやさしい環境が整っていることを、あらためて実感しています。

### やっぱり福祉の仕事が好きなんです

育休期間が終われば、もちろん復職する予定です。今もたまに施設に顔を出したときなど、久々に利用者さまと会えたらやっぱり嬉しいです。先日利用者さまから「赤ちゃん産まれたんか〜！おめでとう！」とお祝いの言葉をいただいて、ありがたい限りですよ。人対人の仕事なのでもちろん悩むことも。でもそれ以上に笑顔にさせてくれ



社会福祉法人 光養会  
特別養護老人ホーム  
ふじの里  
副主任 生活相談員  
前田 有美香さん

社会福祉学部を卒業後、新卒でふじの里へ入職。介護職員として働きはじめて、5年目で生活相談員、そして副主任へ。結婚・出産を経て、現在は夫と子どもと3人で高島市に在住。育休後はふじの里へ復職予定。

るのもまた人であり、利用者さまたちです。プライベートで落ち込んでいるときも、利用者さまの何気ないひと言で悩みが飛んでいくことが実際にあります。いい仕事をさせていただいています、本当に。



## 福祉の仕事と副業の両立 | 個性や働き方を受け入れ、 より生きやすい地域づくりへ

[社会福祉法人 虹の会]

<http://shiganijinokai.net/>



[シェアスペース「白湖（はこ）」]

Facebook >>



### “相談員”と“おにぎり屋さん”をしています

大溝の街並みや美しい水辺の景観。いろんなライフスタイルの人が、自然とつながっていく暮らし。すごくいいなと思います。結婚と同時に高島へ移住しました。もともと地元の福井県で、福祉の現場はひと通り経験していたので、移住後はコンパスの相談員として働きはじめました。移住して2年目、妻が携わる大溝のまちづくりの仕事で出会った空き家を借り、自分たちで改装して、シェアスペース「白湖（はこ）」をオープン。現在は、このスペースで妻といっしょに、土日限定でおにぎり屋さんを営んでいます。

### 空き家を、地域から必要とされる場所に

「白湖（はこ）」では、あえて使い方を

決めていません。地元の方がカフェやイベントを開催し、観光客をはじめ、いろんな人が楽しめる場所にしたいんです。たとえば今は、無農薬の野菜を販売したり、いちじく農家さんのつくるカフェメニューや、私たちの国産・地産にこだわったおむすびランチを提供しています。また、社会福祉協議会さんの生きづらさに悩む方の支援の場として、いっしょにカレーづくりをしたことも。自由な発想で活用していくことで、誰もが自分の場所だと思えるようにしていきたいですね。

### ごちゃまぜに集まれる居場所づくり

今の僕の目標は、相談員の仕事とシェアスペース運営を通じて、世代や事情をこえた人の居場所をつくること。たとえば、子どももお年寄りも障がいのある方も、みんながごちゃまぜに集ま



社会福祉法人 虹の会  
高島市障がい者  
相談支援センター コンパス  
相談員  
上田 洋行さん

福井県出身。2016年に高島市へ移住し、障がい理解や生活困窮など地域課題に取り組む相談員として、コンパスへ入職。シェアスペース「白湖」の運営も行い、地域に必要とされる居場所づくりを実践している。







## 職員さんも私らも、言いたいことを 言いあえるのがいちばんええね

【社会福祉法人 高島市社会福祉協議会】

<http://takashima-shakyo.or.jp/>



社会福祉法人  
高島市社会福祉協議会  
きり高島

成田 茂雄さん

### 高島では、 70代はまだまだ若手や

きり高島は、以前入院していた病院で担当してくださっていたケアマネジャーさんから紹介していただきました。デイサービスを利用しはじめてから10年くらいになります。10年経つと、あたりまえですが仲間もみんな年をとりますね。私もとうぜん年をとります。でも私なんて、ここではまだまだ若手やなって思いますね（笑）

### 春はお花見、 秋は芋掘りが楽しみ

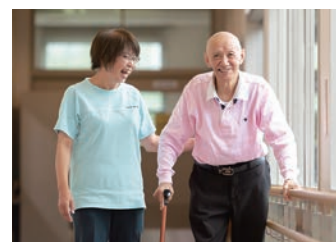
今は水曜日と土曜日の、週2回で通っています。朝にお風呂に入って、お風呂上がりには仲間とおセロをするのがここの日課。季節行事もたくさんあり、待ち遠しいことばかりです。たとえば、

春はお花見。この施設の近所にきれいな桜が咲くんです。毎年そこへ職員さんに連れて行ってもらると、気分が最高に晴れますね。目標は、自分で歩いてその桜を見に行くこと。そのためにリハビリをがんばっています。秋になったら、さつまいも掘りが楽しみです。5月に苗を植えて10月に収穫するのが、毎年恒例の大仕事です。採れたさつまいもでスイートポテトを作って、みんなで食べると、とてもおいしいですよ。

### 本音で話しあえる職員さん

職員さんはやさしくて、ホントよく見てくれているなあと思います。よく話も聞いてくれるし、できることはなるべくぜんぶやらせてくれる。そりゃみんな人間だから、たまには怒ってぶつかることもありますよ。でも、そうやってどんなことでも言いあえるように

なっていくものですよ。嫁さんの愚痴を聞いてくれたりね（笑）できるだけ長い付き合いでいたいから、できるだけ長いこと勤めてもらいたいと思っています。



## 人とのつながりを 大切にできる仕事に就きたい

【社会福祉法人 虹の会】

<http://shiganijinokai.net/>



社会福祉法人 虹の会  
アイリス

森田 弥那さん

### 人に恵まれ、仕事も楽しい

私はアイリスで、主にリネン作業の仕事をしています。タオルやバスマットなどを乾かし、たたみ、ワゴンへの積み込みなどを分担して行っています。アイリスに通うことに決めたのも、家から近かったということもありますが、仕事が楽しかったことが大きいです。それは通いはじめてからも変わりません。職員さんは丁寧に仕事を教えてくださいます。話しやすいし、仕事の話から世間話までいろんなことを喋りながら、毎日楽しく仕事をしています。

### 毎年恒例の日帰り旅行へ

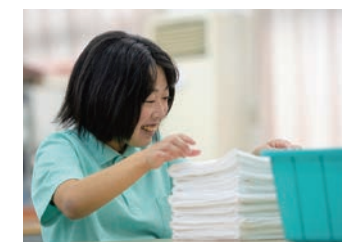
年に一度の日帰り旅行では、職員さんがあげてくださった候補場所をみなから、施設のみんなで話し合い、どこに行くかを決めています。前回は岐阜県

へ行ってきました。コース料理のランチをいただき、そのあとはお楽しみ水族館「アクアト岐阜」へ。前回は京都へ行きましたが、確かそのときも水族館でした。みんな水族館が好きなんです。仕事と遊びにメリハリをつけて取り組めることも、アイリスのいいところです。今回はまだどこへ行くか決まっていますが、とても楽しみです。

### 人と話せる仕事が好き

アイリスでは、山あいの地域の方々を対象に移動販売を行っています。先日、私もはじめて参加し、手づくりのお菓子やお惣菜などを接客・販売しました。お客さまといろんなお話ができて、とても楽しかった。今の私の目標は、一般の仕事に就くことです。移動販売が楽しかったこともあり、お店で販売を

することに興味があります。そのためにもきちんとした敬語を使えるように、日頃から職員さんとの話し方に気を付けています。





# ふくしな暮らし Group Work | これからの高島の福祉を考える |

高島での“ふくしな暮らし”の可能性とは？そこから見える福祉の未来とは？職種や職場の枠をこえて、高島で福祉の仕事をする職員さんに語ってもらいました。

## 福祉の仕事のやりがいとは？ 疑いようのないリアルな課題

**上田:**「どこまでもリアルな課題である」ということが、福祉の仕事のやりがいだと感じています。たとえば、僕の前職は製造業なのですが、「売れるものをつくれ」「納期に間に合わせる」などということがミッションになりがち。いっぱい福祉は、「目の前の人が今まさに困っている」という疑いようのない課題に取り組みます。だからこそ、無駄なことを考えず真剣に打ち込めます。悩ましい課題もたくさんありますが、そのぶん自分のことでいちいち悩んだりする暇はなくなりますね。

**大谷:** 人対人という根幹は絶対に揺るがない仕事ですね。



**森井:** 貧困や孤立などを含めて、制度の狭間にある課題にもどかしさを感じ

ることもあります。制度にあてはまっているかどうかではなく、人対人であることをもっと大切にしなければと思います。現場でいつも心がけていることは、利用者さまの「よいところ探し」です。まずは自分から、その人のよいところをたくさん見つけることが、仕事のやりがいを生み出す種になると考えています。



**木下:** ライフスタイルの多様化もあり、福祉の現場に求められる機能が増えています。だからこそ、職員さんのサポートもますます重要。総務という現場の裏方としては、職員さんの業務で効率化できるところは、どんどん見直していこうとしています。

**大谷:** 悩んだりすることもあるぶん、利用者さまのポジティブな反応に大きなやりがいを感じます。利用者さまの「ありがとう」や「私こんなことできる

んや、来てよかった」という言葉に、逆にこちらが励まされますね。

## どうして高島で福祉の仕事？ 街のかたちが、福祉のかたち

**圓口:** 高島の魅力は豊かな自然。常に琵琶湖と山が近くにあつて、毎日見ても僕は飽きません（笑）空気もおいしいし、開放感もあるし、障がいのある方や高齢の方たちがゆっくり過ごすには、とてもいい環境だと思います。



**久郷:** そうですね、私も高島市のゆとりあるところが好きです。のんびり過ごせる時間や、穏やかな人。そういうゆとりがあるからこそ、新しいモノやコトも受け入れられる街であるように感じます。

**中村:** 就職活動で、地元の大阪で働くことも考えました。でも、地域との関

## 【参加メンバー】

森井 良磨さん（生活相談員／特定非営利活動法人 びわの音・西近江）  
木下 裕輝さん（総務／社会福祉法人 高島市社会福祉協議会）  
久郷 未結さん（生活支援員／社会福祉法人 虹の会）  
大谷 健仁さん（ケアワーカー／社会福祉法人 高島市社会福祉協議会）  
中村 礼奈さん（職業指導員／社会福祉法人 虹の会）  
圓口 功治さん（生活支援員／社会福祉法人 たかしま会）  
上田 洋行さん（相談員／社会福祉法人 虹の会）



わりを大切にする施設。そして、いきいきと働く職員さんたちと高島で出会い、ここで暮らすことに決めました。きっと高島は、福祉の仕事に取り組みやすい土地ですね。



**上田:** 僕は福井県から移住してきましたが、高島市は個性のある人が多く、多様性が認められている街だと感じました。歴史的な背景をみても、琵琶湖を玄関口とした渡来人の出入りがあつたりと、異文化を受け入れる土壌ができていたのかもしれない。

## 高島×ふくしの可能性をどう思う？ 可能性だけで終わらせない

**圓口:** 私は前職で陶芸家をしていました。その技術を生かして、いずれは利用者さまに向けた陶芸教室も施設に取り入れていきたいと考えています。いっしょに陶芸作品をつくり、展覧会をひ

らき、販売もできれば、就労支援という意味あいにおいても可能性がうんと広がるのではないのでしょうか。高島にはさまざまな働き方の職員さんがいらっしゃるの、自分の経験を生かしやすいようにも感じています。

**久郷:** 私が福祉業界に興味をもったきっかけは、障がい者支援施設のアートへの取り組みを知ったことです。障がいのあるなし関係なく、自分らしく表現されている方の作品が世界各地で評価されていることに感動しました。高島からも、アートを通じた取り組みをもっと発信していきたいですね。



**木下:** 高島市は、全国的にみても高齢化率が非常に高い街です。だからこそできる世代間交流があると思います。元気な高齢者が増えていただくための取り組みと、福祉施設をもっとみんなが集まりやすい場所にしていくこと。

そこに、高島の福祉の可能性があると考えています。

**森井:** 福祉の枠をいい意味で取っ払っていきたいなと思っていて。年齢、世代、障がいのあるなし、制度を飛びこえたところに福祉の魅力や可能性を感じています。



**上田:** ふだんは、みなさんそれぞれ異なる職種で、取り組んでいる仕事も違うと思います。でもこうして集まると、課題や解決策やビジョンがなんとなく共有されていることがわかった。そのことがすでに、大きな可能性そのもののような気がします。



## ふくしな暮らし 未来アイデア！



こんなことに取り組みたい  
あったらいいな...  
地方だからこそ  
アイデアが現実になる環境がある！

## 異業種が集う 高島サミット

各分野の異業種の専門家が集まり、高島のまちづくりについて意見交換。福祉のなかで完結させず、異分野とつながることで本当に中身のある地域づくりをめざす。

## マッチングシステム 人材 & 仕事バンク

一般就労から有償ボランティア、ちょっとしたお手伝いまで。より柔軟な人と仕事のマッチングシステムを構築。助けあいの延長としての就労枠を確保する。

## 滋賀の アート拠点を高島に！

利用者さまのアート作品を展示できるアートギャラリーをオープン。アトリエや制作拠点をつくり、個々の力を引き出し、世界へ発信していくアート拠点を高島に！

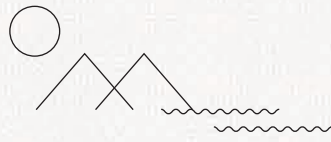
## レクリエーション 開発会

異なる事業所同士でレクリエーションや支援に関する意見交換の場を。事業所をこえて新しいレクリエーションを開発することで、支援をアップデートしていく。

## 地域 共有農園

いろんな作物の苗や種を持ち寄り、誰でも自由に栽培できる農園をつくる。あらゆる世代の方が作物の成長を見守りながら交流する、街のなかの福祉の場にする。





## 高島ぐらしの 魅力

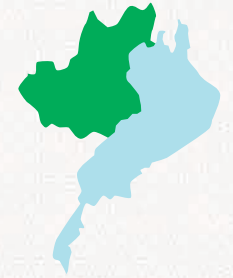
ほどよく便利な田舎暮らしから、里山で自給自足の古民家暮らしまで。それぞれの理想的なライフスタイルを求めて、今、高島には、世代を問わず多くの人たちが集まってきています。福祉業界で働く人にも、嬉しいサポート制度が整っています。



福祉で働く人のサポートが充実しています



## 高島での LIFE STYLE



### CASE01 中村 礼奈 さん [職業指導員/2017年入職/大阪府出身/一人暮らし]

[社会福祉法人 虹の会 アイリス] <http://shiganijinokai.net/>

カフェ・虹・映画・星ときどき猿！？  
人と自然に囲まれて、高島暮らしを満喫中！

アイリスへの入職を機に、高島市で一人暮らしをはじめた中村礼奈さん。高島暮らしをはじめ、まず感じたことはマイカーの必要性。こつこつ貯金し、入職2年目で自家用車を購入！休日はドライブもかねて、高島市内のカフェめぐりや大津市まで映画鑑賞へ。「高島市は虹と星がよく見えます。たま〜に猿と遭遇することも」と笑いがなら語る中村さん。そんな高島の自然に囲まれながら、ゆったりのんびりと過ごす時間が、バランスよく仕事の原動力になっているんだとか。いっしょに働く職員さんも高島在住の方が多く、プライベートではご近所付き合いも。「自然と人とのほどよい距離感とあたたかさがあり、寂しさや不安は最初からあまりなかったです」と中村さん。家賃もほどよく、一人暮らしもしやすいようです。



### CASE02 前田 有美香 さん [副主任 生活相談員/2011年入職/高島市出身/夫とお子様の3人暮らし]

[社会福祉法人 光養会 特別養護老人ホームふじの里] <http://www.kouyoukai-fujinosato.jp/>

母子手帳がかわいい！  
ママの気持ちに寄り添ってくれる街

ふじの里の生活相談員で、現在育休中の前田有美香さん。産後に高島市からいろいろな子育て支援のご案内があったといいます。たとえば、ヘアーサロンへ行きたいときなど、一時的に子どもを見てくれるファミリーサポート。また、高島は保育料の負担がほとんどないこと、さらに中学生を卒業するまでの医療費が無料であること！「ほかに商品券をもらえたりとか、何かと助かっています。母子手帳もかわいいですし(笑)」と前田さん。ようやく散歩に出かけられるようになり、これからの出掛け計画が楽しみなところ。高島市には公園が多く、週末になるとお弁当をもった若いファミリーで賑わうとか。「せっかく田舎に住んでいるから、のびのびと遊ばせてあげたいですね」とお子さんの未来を見つめながら、笑顔で語ってくれました。



## いろんな世代が住みやすい

### ○一人で暮らす

#### 家賃がだんぜんおトクです

同じ広さのお部屋でも、都市部に比べて家賃が安いのが魅力。はじめての一人暮らしでも安心です。

(例) 1R・1K・1DK の家賃相場

大阪市中央区:約70,000円

高島市:約40,000円

### ○家族で暮らす

#### 空き家紹介システムで 住まい探しをスムーズに

高島市と市内の協力事業者が連携して空き家の紹介を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

<空き家紹介システムのしくみ>

<https://move-takashima.jp/sumai>



## 子育て支援が充実

### ○子どもが中学卒業まで医療費無料

入院・通院にかかる医療費(自己負担分)が無料です。

### ○第一子から保育料無料

ふるさと納税の寄付金を活用し、保育料を完全無料にしています。

## 介護の現場で働く

### ○学童保育料基本料金の2分の1(月額上限6,000円)

対象:子どもを学童保育に預けて、市内の介護サービス事業所などに勤務する方

### ○家賃から勤務先の住居手当を除いた額の2分の1(月額上限20,000円・助成期間2年)

対象:市外から市内に移住して、新たに市内の介護サービス事業所などに就労する方

### ○介護職員初任者研修受講料3分の2(上限43,000円・テキスト代含む)

対象:研修受講後、はじめて市内の介護サービス事業所などに就労する方

### ○毎月の奨学金返還額の2分の1(年間上限60,000円・助成期間2年)

対象:高校・大学・専門学校在学中に受けた奨学金を、市内の介護サービス事業所などへの就労後に返還する方(新卒のみ)

※令和元年度時点の情報です。今後変更になる場合があります。



## おわりに

最後までお読みいただきありがとうございます。

高島市の、十人十色のふくしな暮らし。いかがでしたか？

ひとことで「福祉の仕事」と言っても、働き方は人それぞれ。

きっと福祉の仕事は今、

「理想のライフスタイルにフィットさせやすい仕事」と言えるでしょう。

観光でも、ドライブでも。まずは一度、高島市へ来て、

ちょうどいい田舎を肌で感じてみてください。

そのなかで、福祉の仕事に興味をもってもらえたら、お気軽にご相談を。

お会いできる日を、楽しみにしています。

### [お問い合わせ先]

高島で暮らす福祉で働く

2020年発行

高島市介護サービス事業者協議会 事務局

高島市社会福祉協議会 在宅福祉課

〒520-1121 滋賀県高島市勝野680番地

TEL 0740-36-8222 FAX 0740-36-2023



高島への移住、定住をお考えの方は、高島市移住定住相談窓口までお問い合わせください。

TEL:0740-25-8526(9:00~17:00)

info@move-takashima.jp

高島定住応援サイト <https://move-takashima.jp/>

## [法人紹介]

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 有限会社サワイ                 | 〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目31番地           |
| 株式会社ニチイ学館               | 〒520-1121 滋賀県高島市勝野1725番地                |
| 特定非営利活動法人じゃがいもの家        | 〒520-1804 滋賀県高島市マキノ町浦345番地              |
| オオヤマホールディング株式会社         | 〒520-1217 滋賀県高島市安曇川町田中3741-1            |
| 社会福祉法人ゆたか会              | 〒520-1605 滋賀県高島市今津町南新保87番地15(※本誌掲載法人)   |
| 社会福祉法人高島市社会福祉協議会        | 〒520-1121 滋賀県高島市勝野215番地(※本誌掲載法人)        |
| 医療法人かおり会                | 〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭605番地1              |
| 株式会社ヤサカ                 | 〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津1970-1             |
| 医療法人マキノ病院               | 〒520-1822 滋賀県高島市マキノ町新保1097番地            |
| 株式会社夢の木                 | 〒520-1121 滋賀県高島市勝野1638 清水被服2F           |
| 一般財団法人近江愛隣園             | 〒520-1605 滋賀県高島市今津町南新保87番地1             |
| 株式会社Beスマイル              | 〒520-1217 滋賀県高島市安曇川町田中302番地             |
| 株式会社ニッシン                | 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木651番地3           |
| 特定非営利活動法人びわの音・西近江       | 〒520-1631 滋賀県高島市今津町名小路1-3-1(※本誌掲載法人)    |
| 有限会社メディカルアーツ研究所         | 〒520-1611 滋賀県高島市今津町弘川1533-1             |
| 社会福祉法人新旭みのり会            | 〒520-1511 滋賀県高島市新旭町薬園2603番地             |
| 社会福祉法人光養会               | 〒520-1223 滋賀県高島市安曇川町下小川3220番地1(※本誌掲載法人) |
| 特定非営利活動法人元気な仲間          | 〒520-1502 滋賀県高島市新旭町針江291番地              |
| 社会福祉法人たかしま会             | 〒520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜1415(※本誌掲載法人)     |
| 株式会社Logic               | 〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭1-7-1               |
| アサヒサンクリーン株式会社           | 〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津2447-9コーポラス今津1階    |
| 株式会社ランカル                | 〒520-1611 滋賀県高島市今津町弘川1520-3             |
| 株式会社リハビリライフ             | 〒520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜748-2             |
| 医療法人社団 松田歯科医院           | 〒520-1511 滋賀県高島市新旭町旭696番地               |
| 合同会社TMK                 | 〒520-1216 滋賀県高島市安曇川町中央4丁目7番地12          |
| 株式会社K's medical support | 〒520-1121 滋賀県高島市勝野2245-9                |
| 湖西ホームズ株式会社              | 〒520-1232 滋賀県高島市安曇川町北船木1729番地1          |
| 社会福祉法人日野友愛会             | 〒520-1121 滋賀県高島市勝野1-79                  |
| 株式会社Walk                | 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木189-3            |
| 社会福祉法人虹の会               | 〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畑45番地(※本誌掲載法人)      |
| 高島市                     | 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地              |



